

情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情宣部

J R 東労組 ついに分裂へ！

J R 東労組が分裂した。これまで内部対立を繰り返していた中央本部と 3 地本（水戸・東京・八王子）は 2 月 10 日、それぞれの道を歩みだした。2 月 10 日はおりしも J R 東労組第 46 回定期中央委員会が開催された日だ。そして、3 地本が中心となり、新たな労働組合を結成した。名称は「J R 東日本輸送サービス労働組合」という。

J R 東労組

前述した通り、2 月 10 日、J R 東労組は第 46 回定期中央委員会を開催した。ホームページから「新生 J R 東労組運動宣言」を確認し、スローガンを含め、全ての議案が満場一致で可決！とある。そして、水戸・東京・八王子地本の執行委員に対する「制裁申請」が確認されましたと書かれている。このことから J R 東労組本部は 12 地本の総団結で 3 地本に対する制裁と本部派遣で 3 地本に入り立て直しを図ることがわかる。

J R 東日本輸送サービス労働組合

前述した通り、2 月 10 日に結成した「J R 東日本輸送サービス労働組合（通称 J T S U—E）」は結成大会に 283 名が参加し、組合員が 2,000 人を超えているという。また、結成当日にホームページとツイッターが開設されている。運動の基本に「職場から仲間と共にたたかう労働組合の原点を忘れず・・・」と書かれている。「労働組合の原点を忘れず」である、しっかりと今後の趨勢を見ていくしかない。

組合員に寄り添う労働組合を選択すべき！

「18 春闘」を発端とした J R 東労組の内部対立は分裂という形で幕引きとなったと言える。この分裂策動で 3 択を迫り組合員は悩んだ。これまで組合員不在の運動を展開してきた J R 東労組はどの道を歩むのだろうか。また、3 地本主体の「J R 東日本輸送サービス労働組合」は法人登録、労働協約・協定の締結が滞りなく手続きが進むのだろうか。未来を語るのは自由だが、その運動に組合員を内包し共に歩むことができるのだろうか。職場の組合員は内部対立から辟易している。しかし、労働組合は必要だ。私たち「J R ひがし労」は、組合員、家族の利益のために「職場活動」、「抵抗とヒューマニズム」を基底に当たり前の労働運動を推し進めてきた。これからもそのスタンスは変わらない。今こそ「J R ひがし労」の旗のもとに結集しよう！

今こそ！「JRひがし労」の旗のもとへ